

2026 年度 (令和8年度) 学校評価自己評価表

神辺東中学校区	校番 76	福山市立御野小学校
最終更新日		2026年(令和8年) 4月 1日

I 福山市

めざす姿	すべてのこどもたちが、自分自身の成長を実感できる学校教育の実現
------	---------------------------------

II 中学校区

前年度学校運営協議会 (学校関係者評価)の主な内容	児童生徒の現状	育成する 資質・能力	課題解決力(思考力・判断力・表現力) 主体性・協働性(学びに向かう力)
・各学校とも工夫した取組がなされている。児童生徒の学力向上への取組や、よりよい生活習慣づくりへのアプローチについては、今後とも進めてほしい。 ・教職員・保護者・地域が協働して、児童生徒の育成に取り組んでいきたい。	・学習に向かう意欲や、努力する態度が育ち、学力は向上してきている。さらに、言語活動を充実させ、表現力を育成する必要がある。 ・決まった活動には、素直に取り組むことができる。しかし、自ら挑戦したり、人とかかわりながらやり遂げたりすることには、やや課題がある。	めざすこども像 (義務教育修了時の姿)	「なりたい自分」を目指し、自立・協働し、社会貢献への意欲を持つ。
		中学校区として 統一した取組等	【学 力 向 上 部】 探究型の学びづくりと、その他の学力向上に向けての取組の交流を行う。 【生 徒 指 導 部】 小中及び小小連携・交流活動を実施、生徒指導規定の見直しを行う。 児童生徒の実態交流及び連携を行い、進路指導について研修する。 【健康・体力推進部】 児童生徒が、自ら、よりよい生活習慣づくりをするための取組を行う。

III 自 校

学校教育目標		育成する 資質・能力	課題解決力（思考力・判断力・表現力）	主体性・協働性（学びに向かう力）	
自ら学び 人間性豊かで たくましく生きる こどもの育成					
現 状					
<児童生徒> ○児童の意識調査の結果、意欲的に学習へ取り組んでいるという児童が92.9%となり、基礎・基本の定着に大きな伸びが見られた。さらに、既習の知識や技能を活用し、自分で考えたり、対話を通して学びを深めたりする学習経験を増やすとともに、読書により多様な文章や言葉に触れさせる必要がある。 ○児童は、素直で優しく、真面目に活動できる。一方、自ら行動したり、思いを表現したりすることには自信が持てない状況も見られる。支持的風土の学級づくりを基盤に、児童が、他と協働し、困難なことも乗り越える経験を積むことが必要である。 ○保護者の協力をいただき、よりよい生活習慣づくりに取り組んだ結果、成果が見られた。一方で、実践期間中の取組が継続しにくい状況も見られた。		めざす こども像	低 学 年	① 知っていること、経験したことをもとにして、自分で考える。 ② 観察や撮影、図書等を読むなどして、情報を集める。 ③ 自分の考えを伝える。	① 自分から進んでチャレンジする。 ② 身の回りの人といっしょに活動しようとする。
			中 学 年	① 知識を関連付け、みんなで考える。 ② 観察やインタビュー、撮影、読書などをして必要な情報を収集する。 ③ 相手や目的を意識し、自分の考えを工夫して伝える。	① 目標に向かって、あきらめずやりとげる。 ② 自分と違う意見や考えのよさに気付き、協力して活動しようとする。
			高 学 年	① 自ら課題を発見し、解決に向けて見通しをもち、考えを深める。 ② 多様な方法で情報を収集したり、情報の真偽を確かめたりする。 ③ 目的や意図に応じて、話の構成を考えたり、資料を活用したりして、工夫して伝える。	① 目標に向かって計画を立て、学びや活動を調整しながらやりとげる。 ② 自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協力して活動しようとする。
<授業>					
○生活科と総合的な学習の時間を中心に、地域素材を活用し、探究の過程を取り入れた単元づくりを行った。児童は、地域素材や地域の人々との関わりの中で、地域への愛着、学びへの手ごたえを感じることができた。また、他教科等で学習した知識や技能を活用し、学習への自信を高めてきている。さらに、課題設定場面の工夫、データの活用や言語活動の適切な設定により、探究の過程を充実させる必要がある。 ○授業づくりポートフォリオ活用し、児童のつまずきに着目した授業改善を行うとともに、帯タイム等で学力補充に努めた。さらに、児童が見方・考え方を働かせる授業の工夫を行い、学習過程を充実させる必要がある。 ○児童の学習を支える取組として、よりよい生活習慣づくりを目指したメディアコントロール週間を実施した。結果、児童の学習時間が増加してきた。今後、家庭学習習慣の定着及び読書習慣づくりに取り組む必要がある。		研究	テーマ	主体的に学び、他者と協働して課題を解決する児童の育成 － 探究の過程を取り入れた単元づくりを通して －	
			内容等	○総合的な学習の時間、生活科、社会科を中心に、地域素材の活用、適切な言語活動や情報活用場面の設定により探究の過程を充実させる単元づくり ○見方・考え方ははたらかせる学習活動の工夫及び細やかな見取り ○育成する資質・能力を明確にした振り返り（事実 関連付け・統合 自己の成長）の充実	
		めざす授業の姿		◇児童が課題意識を持ち、意欲的に学びに向かう授業 ◇児童が、自らの経験や既習の知識・技能を活用して対象と関わり、体験、調査、対話活動等を通して課題を解決しようとする授業 ◇児童が学習を振り返り、達成感や充実感を感じると共に、学習を次へとつなぐ授業	

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立御野小学校

年 目	中期経営目 標	重 点	分 類	短期経営目 標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)				
							□指標に係る 取組状況	プロセス 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	プロセス 評価	達成 評価	総合 評価	改善方策
2	自ら学ぶ 主体的・協働的に学び続ける児童を育成する。	★	継続	探 究 の 過 程 を 取 り 入 れ た 授 業 づ く り を 行 い、学 習 内 容 の 定 着 を 図 る。	①探究の過程を取り入れた単元づくり ・地域素材 ・資料(データ) ・言語活動 ②ミニ研修及び授業Weekの実施 (6月、11月) ③学力補充・読書活動の推進 ・みのっこタイム ・ぐんぐん教室 ・読書タイム等	◆授業づくりポートフォリオ結果 ○問題正答率:85%以上 ○意識調査他:肯定的評価85%以上 ① 自ら課題を発見し、解決に向けて見通しをもち、考えを深める。 ② 多様な方法で情報を収集したり、情報の真偽を確かめたりする。 ③ 目的や意図に応じて、話の構成を考えたり、資料を活用したりして、工夫して伝える。 ④ 目標に向かって計画を立て、学びや活動を調整しながらやりとげる。 ⑤ 自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協力して活動しようとする。 ⑥ 読書が好き ◆学力定着状況調査等の結果 (正答率40%未満の児童の割合が減少)									
1	人間性豊かな 思いを伝え合い、互いを理解し合って、自分も他者も大切にする児童を育成する。	★	新規	協 働 的 な 活 動 及 び 個 に 応 じ た 支 援 を 通 し、児 童 が 安 心 し て 活 動 で き る 環 境 づ く り を 行 う こ と で、自 己 肯 定 感 を 高 め る。	①支持的風土の学級づくり実施 ・Q-U、ここタンの活用による実態把握 ・学級経営に係る研修の実施 ・校内フリースクール ②児童が企画・運営・改善する行事や体験活動等を実施	◆児童の意識調査 肯定的評価:80%以上 ①自分から進んで行動している ②最後までやりとげて、うれしかったことがある ③友だちのよさに気づいた ④自分のよさが、周りの人に認められている									
2	たくましい 自らの健康や体力に関心をもち、よりよい生活を築こうとする児童を育成する。		継続	児 童 が 自 分 の 健 康 に 関 心 を 持 つ 機 会 を 持 ち、基 本 的 生 活 習 慣 を 定 着 さ せ る と と も に、運 動 へ の 意 欲 向 上 を 図 る。	①児童が自分の生活を振り返り、よりよい生活習慣づくりをするメディアコントロール週間の実施(年間5回) ②児童が運動への関心を高め、自分の目標を目指し取り組む活動の実施 ・運動遊び・運動行事の企画・実施 ・体づくり運動の実施	◆児童の意識調査 肯定的評価:85%以上 (授業づくりポートフォリオ意識調査他) ①学習時間1時間以上 ②スマホ、ゲーム時間2時間未満 ③運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好き ◆体力テストの結果 全国平均を上回る運動:70%以上									

3